資料１

平成３０年度
伊万里市社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人 伊万里市社会福祉協議会

目　　次

事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２

１　社協運営基盤の充実強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

２　地域福祉活動の拠点づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

３　情報提供、相談窓口体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11

４　安全で安心した生活の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ12

５　ボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ15

６　障がい者（児）に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ17

７　高齢者に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ18

８　諸活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ21

事　業　報　告

今日の福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の進展により、厳しさを増しており、2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることから、介護を必要とする高齢者が急激に増加することが見込まれています。

さらに、貧困や低所得、引きこもり、孤独、社会的排除、虐待、自殺、地域社会のつながりの希薄化などにより、生活課題が拡大しています。

このような中にあって、社会福祉協議会には、地域社会の生活課題の解決に向けた活動をさらに展開していくとともに、地域の様々な関係者、地域住民との協働による地域福祉活動の一層の推進が求められています。

本社会福祉協議会では、平成30年度におきましては、このような状況に対応するため、「みんなで助け合い、支え合う、だれもが住みたいまち・伊万里」の活動理念のもと、地域で住民主体による通いの場の創出や生活支援等の助け合い活動など、活発な地域活動を展開しました。

主なものとして、

「生活支援体制整備事業」においては、高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら日常生活を送れるよう、市内13町において、話し合いや推進の中核となる第2層協議体を立ち上げました。

また、「生活困窮者自立支援事業」については、生活困窮者や社会的孤立、引きこもり、子どもの貧困など制度の狭間で支援に結び付いていない方に対し、生活保護に至る前に、就労や家計管理等の相談その他に対応し、困窮状態等からの脱却に向けて取り組み、経済的自立、生活の安定を図りました。

さらに、「地域公益事業」について、地域福祉に関する連絡調整役として、市内の福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取り組みが促進されるよう、情報交換会を開催し、組織化への協議を進めました。

そのほか、地域福祉の担い手としての各種の事業推進を図るとともに、組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上等に努め、地域に開かれた組織運営に努めました。

重　点　事　業

○ 生活支援体制整備事業の推進
○ 生活困窮者自立支援事業の充実
○ 地域福祉活動協働推進会議の開催
○ 法人運営のガバナンスの強化

１　社協運営基盤の充実強化

（１）理事会・評議員会・監事会等の開催

① 理事会の開催

第１回理事会　平成３０年６月８日（金）

【議　　案】

・議案第１号　伊万里市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
・議案第２号　平成２９年度伊万里市社会福祉協議会事業報告について
・議案第３号　平成２９年度伊万里市社会福祉協議会一般会計決算について
・議案第４号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第１号）について
・議案第５号　平成３０年度第１回定時評議員会の日時並びに場所及び提出議案について

【報告事項】

・報告第１号　平成２９年度日本赤十字社伊万里市地区会計決算について
・報告第２号　専決処分の報告について
・会長業務報告

第２回理事会　平成３０年１２月４日（火）

【議　　案】

・議案第６号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第２号）について
・議案第７号　平成３０年度第２回評議員会の日時並びに場所及び提出議案について

【報告事項】

・報告第３号　専決処分の報告について
・会長業務報告

第３回理事会　平成３１年３月１３日（水）

【議　　案】

・議案第８号　伊万里市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部を改正する細則制定について
・議案第９号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第３号）について
・議案第 10 号　積立金の処分について
・議案第 11 号　平成３１年度伊万里市社会福祉協議会事業計画について
・議案第 12 号　平成３１年度伊万里市社会福祉協議会一般会計について
・議案第 13 号　平成３０年度第３回評議員会の日時並びに場所及び提出議案について

【報告事項】
・報告第４号　専決処分の報告について
・報告第５号　平成３１年度日本赤十字社伊万里市地区会計予算について
・会長業務報告

② 評議員会の開催

第１回評議員会（定時評議員会）　平成３０年６月２２日（木）

【議　　案】
・議案第１号　平成２９年度伊万里市社会福祉協議会理事の選任について
・議案第２号　平成２９年度伊万里市社会福祉協議会事業報告について
・議案第３号　平成２９年度伊万里市社会福祉協議会一般会計決算について
・議案第４号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第１号）について

第２回評議員会　平成３０年１２月１１日（火）

【議　　案】
・議案第５号　伊万里市社会福祉協議会理事の選任について
・議案第６号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第２号）について

第３回評議員会　平成３１年３月２０日（水）

【議　　案】
・議案第７号　平成３０年度伊万里市社会福祉協議会一般会計補正予算（第３号）について
・議案第８号　積立金の処分について
・議案第９号　平成３１年度伊万里市社会福祉協議会事業計画について
・議案第 10 号　平成３１年度伊万里市社会福祉協議会一般会計予算について

③ 評議員選任・解任委員会の開催

第1回評議員選任･解任委員会　平成３０年６月１３日（水）

【議　　案】
・議案第１号　伊万里市社会福祉協議会評議員の選任について

④ 監事会の開催

第1回監事会　平成３０年５月２５日（金）
・監査事項　　平成２９年度業務及び会計決算について

第2回監事会　平成３０年１２月５日（水）
・監査事項　　平成３０年度上半期業務及び予算の執行状況について

⑤ **社会福祉法人指導監査（市）**　平成３１年１月２３日（水）

・監査事項　　社会福祉法に基づく社会福祉法人運営監査

（２）　理事・評議員・監事研修会への参加

平成 30 年度市町社会福祉協議会役職員等研修会

平成 31 年 2 月 8 日（金）　（於）アバンセホール

参加者－理事、評議員、監事　計 10 名

（３）社協会員募集活動の実施

組織体制の強化・整備、財政基盤の充実を図るため、各世帯、社会福祉関係者、社会福祉関係団体、各事業所に対し、社協会員の募集を行いました。

社協会費の種類	対　象	金　額	件　数	依頼額
一般会費	全世帯	4,905,910 円		1 世帯 300 円
賛助会費	社会福祉関係者	194,000 円	183 件	1 口 1,000 円
団体会費	社会福祉関係団体	144,000 円	21 件	1 口 3,000 円
法人会費	各事業所	1,010,000 円	179 件	1 口 5,000 円
合　　計		6,253,910 円		

（４）寄付金の受け入れ状況

種　　類	金　額	件　　数
香典返し	4,115,000 円	203 件
篤　　志	1,000,379 円	20 件
物品（車椅子）	160,000 円	5 件
福祉バス	501,400 円	38 件
合　　計	5,776,779 円	266 件

（５）平成３０年度 社会福祉功労者表彰

社会福祉の増進並びに市社会福祉協議会の発展に寄与し、その功績が顕著な団体、個人を表彰しました。

表彰式は、平成３０年１０月２１日（日）の「第１４回ボランティアまつり」で行ないました。

① **民生委員･児童委員**（９年以上）― 該当者なし

民生委員・児童委員として、長年にわたり職務に精励され、地域福祉の向上に寄与された功績

② **福祉活動員**（８年以上）　　―　２６名

福祉活動員として、長年にわたり職務に精励され、地域福祉の向上に与された功績

氏　　名	地区・町名	在任期間
梅　﨑　八重子	伊万里	８年
林　田　久美子	伊万里	８年
宗　　江美子	伊万里	８年
山　田　雪　枝	伊万里	８年
故 田 中　綾 子	伊万里	８年
諸　石　テルヨ	牧　島	８年
梅　村　惠　子	大　坪	８年
松　尾　智　子	大　坪	８年
黒　岩　温　美	大　坪	８年
堤　　真由美	大　坪	８年
藤　巻　悦　子	大　坪	８年
一ノ瀬　泰　代	大　坪	８年
岩　本　たかよ	立　花	８年
岩　本　恵　子	立　花	８年
楠　田　孝　子	黒　川	８年
向　　公　三	大　川	８年
中　島　冨　子	松　浦	８年
岩　永　良　子	二　里	８年
副　島　　昇	二　里	８年
大　宅　絹　江	二　里	８年
幸　松　喜代子	東山代	８年

山　口　雅　子	東山代	８年
山　田　末　美	東山代	８年
中　倉　信　子	東山代	８年
金　子　美榮子	山　代	８年
浦　郷　九二子	山　代	８年

③ **社会福祉施設（15年以上）又は社会福祉団体（9年以上）の役職員**　― 該当者なし

社会福祉施設の職員並びに社会福祉団体の役員として、長年にわたり職務に精励され、福祉の増進に寄与された功績

④ **社会福祉の増進に貢献した団体等**（社会福祉活動が５年以上）―１名

氏名・団体名	所在地	活動期間
前　田　武　太	東山代町	７１年

⑤ **その他、特に表彰が必要と認められる者（団体）**　―　３名と１団体

氏名・団体名	所在地	備　考
金 子　和斗志	新天町	高額寄付者
山 口　チサ子	東山代町	高額寄付者
前 田　教 一	南波多町	高額寄付者
株式会社インズパークス	新天町	高額寄付事業所

２　地域福祉活動の拠点づくり

（１）地区社会福祉協議会活動支援

誰もが地域において安心して生活が送れるよう、見守りネットワーク活動や地域交流会、生きがいづくり活動など、住民参加型による地域福祉の推進に努めました。

また、地域福祉活動の中心的な役割を担う各地区社会福祉協議会に助成金を交付し活動を支援しました。

① 地区社会福祉協議会代表者会の開催

〇開催日　平成３０年４月１９日（木）

〇内　容　（ァ）生活支援体制整備事業の推進について

（イ）生活支援体制整備事業第２層協議体の設立に係る規約改正について

（ウ）基調説明　生活支援体制整備事業について

（くまもと健康支援研究所）

〇参加者　地区社協会長・副会長、公民館長

② 各地区社会福祉協議会の活動支援

助成金の交付及び活動状況（歳末義援金一律６万円を含む）

地　区	助成金額	主な活動
伊万里	442,400 円	高齢者との交流会、ふれあい給食、グラウンドゴルフ大会、高齢者サロン交流会等
牧　島	162,400 円	ふれあい給食、伝統芸能伝承、グラウンドゴルフ大会、ミニ門松づくり、ふれあい交流等
大　坪	476,400 円	ふれあい給食、グラウンドゴルフ、高齢者転倒予防教室、サマークッキング等
立　花	531,200 円	たっしゃかネットワーク事業、グラウンドゴルフ大会、生活体験通学合宿、ふれあい給食等
大川内	195,700 円	ふれあい給食、福祉施設訪問、ふれあいウォーキング、高齢者と保育園児と交流、料理教室等
黒　川	206,300 円	むかし遊び交流、環境美化、あゆみ会と高齢者との交流、ふれあい給食、町民サロン交流等
波多津	197,800 円	健康福祉コーナー設置（公民館まつり）、おはぎ・ぼたもち交流会、ふれあい配膳交流会、年賀状交流等
南波多	174,800 円	グラウンドゴルフ大会、児童と世代間交流、防犯パトロール、寝たきり高齢者宅訪問、ふれあい給食等

大　川	208,500 円	１人暮らし高齢者宅訪問、大正琴・絵手紙教室、高齢者サロン、応急手当講習会等
松　浦	204,900 円	給食サービス、地域福祉活動先進地視察研修、高齢者と保育園児との交流（しめ縄づくり）等
二　里	374,300 円	絵手紙・料理教室、ふれあい給食、門松作り高齢者サロン、夏の寺子屋、避難訓練等
東山代	367,400 円	花いっぱい運動、ふれあい給食、ヤクルト配布訪問、高齢者宅へおはぎお届け、福祉交流会等
山　代	388,300 円	高齢者サロン代表者会、三世代交流事業、防災研修会、ふれあい給食、山代まつり等
合　計	3,930,400 円	

（2）生活支援体制整備事業の推進及び地域座談会の開催（市委託事業）

一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者等の日常生活に不可欠な買い物やゴミ出し、庭木の手入れ、電球交換など、軽微な家事援助を地域で支え助け合っていく仕組みづくりを構築するため、１３地区社会福祉協議会内に、その話し合いの場となる「第２層協議体」を立ち上げ、地域座談会として、地域課題や解決策などを話し合いました。

○ 取り組み内容

・市内全域（１３地区）における第２層協議体の設立
・第１層（市レベル）及び第２層（町レベル）への生活支援コーディネーターの配置
・地域座談会の開催（各地区・町２回程度）
・第３層（行政区単位）での事業着手

○ 第2層協議体の設立並びに地域座談会の開催状況

地区・町名	第２層協議体設立日	第１回座談会	第２回座談会
伊万里	７月１１日	７月１１日	１月１１日
牧　島	５月１１日	８月　９日	３月　８日
大　坪	６月　８日	１１月　６日	２月　８日
立　花	４月２０日	９月１３日	１月２２日
大川内	２月１９日	７月３１日	２月１９日
黒　川	５月２２日	１０月２５日	２月１８日

波多津	１月３０日	１２月１３日	１月３０日
南波多	５月２３日	１１月１２日	２月１４日
大　川	５月１６日	８月２９日	
松　浦	５月３１日	８月１０日	１１月１６日
二　里	６月　７日	１１月　６日	２月　７日
東山代	５月　９日	９月１２日	
山　代	６月１３日	８月　８日	１２月　８日

（3）地域福祉活動協働推進会議の開催（県補助事業）

小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取り組みが促進されるようその環境整備を図り、地域における福祉サービスの充実と重層的な支援体制の構築に努めました。

〇会議回数　６回（７月から１２月まで毎月１回）
〇参加法人　３３法人
〇内　　容　・社会福祉法人の地域における公益的な取組の責務化について
・小規模法人を含む福祉サービス提供機関の連携について
・先進地視察（大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会）
・伊万里市地域公益活動推進協議会の設置について

（4）福祉活動員設置制度の充実

地域住民の持つ様々な生活問題、福祉問題を取り上げ、その解決に取り組み、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざしました。

概ね５０世帯に１人の割合で福祉活動員を配置し、民生委員・児童委員活動への協力をはじめ、地域の実態把握や一人暮らしの方の見守り活動、緊急時の支援などにご尽力をいただきました。（福祉活動員設置数　２８２人）

① 福祉活動員活動助成金の交付

活動費５千円／人（福祉活動員中央研修会時（４/１９）に交付）

② 福祉活動員中央研修会の開催

〇開催日　平成３０年４月１９日（木）
〇場　所　市民センター　文化ホール
〇参加者　３３２人（福祉活動員２３５人他、地区社協役員等）
〇内　容　・福祉活動員の役割について
・これから福祉活動員に期待される役割について

３　情報提供、相談窓口体制の充実

（1）情報提供の充実

① いまりし社協だよりの発行

市民の皆さまへ、福祉や介護、ボランティアに関する情報の提供や社協の事業を広くＰＲするため､｢いまりし社協だより｣により情報発信をいたしました。

発行回数	発行部数	備　　考
年６回（２か月に１回発行）	2 万 900 部／回	全戸配布

※ また、点字版いまりし社協だよりを、点訳グループ「麦の会」の協力により発行しました。

② Facebook(フェイスブック)の活用

幅広い世代層に社協事業や福祉情報を周知するため、ふれあいステージやボランティアまつりなど、大きなイベントの情報を発信しました。

(2) 総合相談窓口の充実

○ ふれあい相談事業

日ごろ抱えている悩みや心配ごとを、気軽に相談できる相談窓口を社協事務局に開設しました。

区　分	内　　容	相談日	相談件数
ふれあい相談	心配ごとよろず相談	常時開設	３０件

４　安全で安心した生活の確保

（1）伊万里市生活自立支援センターの運営（市委託事業）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援事業を実施しました。

開 設 日	月曜日～金曜日：９時～１７時
支援内容	相談受付、アセスメント、支援プラン作成、支援調整会議の開催、就労・家計支援、各種手続の同行支援等
相 談 者	７９名（内新規５３名）
相談件数	延　１，５１６件
就労へ繋がった数	１件（一般就労）
支援体制（３名）	センター長　１名 主任相談員　１名 相談支援員兼就労支援員　１名

（2）福祉サービス利用援助事業の実施（県社協委託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方が、自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行いました。

サービス利用状況

新規契約者数	年度末現在利用者数	相談・問合せ・支援件数
８人	５８人	１，３１４件

（3）生活福祉資金貸付事業の実施（県社協委託事業）

低所得者、高齢者、障がい者世帯の経済的自立および生活意欲の助長促進を図るため、必要な資金の相談受付を行いました。

借入相談	借入申込数	貸付決定数	これまでの貸付件数	償還指導
３８件	１件	０件	９６件	１３件

（4）新入学児童への黄色い帽子贈呈事業

市民への交通安全思想の普及と児童の健やかな成長を願い、市内の全新入学児童へ黄色い帽子を贈呈しました。

〇贈呈日　平成３０年４月１２日（水）※小学校入学式において

〇贈呈数　５３２個（内、伊万里小へは手提げ袋９１個を贈呈）

（5）伊万里市民災害ボランティアセンターの設置

地震・風水害等の自然災害や大型事故等の発生時に、市民の有志が自主的かつ主体的にボランティアとして行う救援活動や生活支援活動に取り組むための拠点として、伊万里市民災害ボランティアセンターを常時設置し、万が一の災害に備えました。

〇災害等発生件数　０件

（6）福祉用具、室内用具等の貸出事業

高齢者や障害者等の生活支援やサロン等での生きがいづくりを図るため、市民から寄付された物品を整備し、無料で貸与事業を行いました。

種　　類	保有数	貸出期間
車椅子	６９台	半年
ベッド	２２台	１年
手押し車	３台	３か月
ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ・ｽｸﾘｰﾝ	１式	適宜
輪投げ	１セット	適宜
スカットボール	１セット	適宜
ラダーゲッター・フルセット	１セット	適宜
羽根っこｹﾞｰﾑ干支ｾﾄﾗｾｯﾄ	１セット	適宜
ガンバルーン健康体操セット	１セット	適宜
バスケットピンポンセット	１セット	適宜
公式ワナゲセット	１セット	適宜
釣りっこ	１セット	適宜
けん玉セット	１セット	適宜
ストライクナイン	１セット	適宜
白黒ゲーム	２セット	適宜
移動ピラミッド	３セット	適宜
ソフトチーズボード	２セット	適宜
フォーティーワン・ゲーム	６セット	適宜
ふまねっと	１セット	適宜
赤十字炊出用かまどセット	１セット	適宜

（7）安心・安全なまちづくり支援事業

自然災害や犯罪に備え、地域の生活課題を発見し、問題解決に向けた取り組みを財政面から支援するとともに、住民相互の支え合いや助け合いの精神を構築しました。

・助成基準－事業費の１／２以内で１０万円を限度（共同募金）
・平成３０年度実績－１０事業、助成額６４万６千円
・防犯灯、手摺、調整池フェンス、屋外スピーカーの設置等に対して助成

５　ボランティア活動の推進

（1）ボランティアセンターの円滑な運営

ボランティア活動をしてみたい人や活動の情報を求めている人、ボランティアの支援を必要とする人の相談窓口を充実させるとともに、ボランティア保険の加入手続きを行なうなど、ボランティアセンターを運営しました。

（2）ボランティア登録・斡旋事業

ボランティア登録制による斡旋事業を行い、活動普及とともに地域や福祉施設からの要請に応えました。

新規登録数		合計登録者数	
（個人）８人	（団体）２団体	（個人）３３０人	１１０団体　３，２５２人
ボランティア斡旋件数　９７件			

（3）ボランティア活動保険加入の推進

ボランティア活動中の不慮の事故に対処するため保険加入を呼びかけました。

加入者数	事故発生件数	保険金支払い件数
１，１２２人	３件	３件

（4）ボランティア活動協力校の育成指導

市内の小中高校をボランティア活動協力校として指定し、補助金の交付や情報提供を行いボランティアの普及に努めました。（補助金額２万円／校）

区　分	小学校	中学校	高校・特別支援学校	補助金額
指定数	１３校	８校	５校	520,000 円

（5）福祉教育・ボランティア体験学習の支援

各小学校における「総合的な学習の時間」において、福祉、ボランティアの体験学習、情報提供などを行いました。

支援回数	内　　容
２６回	高齢者擬似体験（５件）、　車椅子体験（６件） アイマスク体験（８件）、　福祉講話（７件）

（6）24時間テレビ41「愛は地球を救う」チャリティー募金

学校全体で取り組む募金活動を通じて、互いに助け合う心豊かな人間形成と共に生きる力を養い、自主性や社会性を育むボランティア学習、福祉教育の一助としました。

募金は、福祉車両（巡回入浴車、リフト付バス、電動車椅子等）の贈呈、海外援助、環境保全等に生かされます。

〇実施日　　平成３０年８月２１日（火）から２３日（木）
〇場　所　　市内１７か所
〇募金額　　５１９，３４７円
〇参加校　　１７校（高校３、中学校８、小学校６）

（7）ボランティア情報紙「やあ!お元気ですか」の発行支援

発行回数	発行部数	備　　考
年１２回（毎月）	2,700 部	回覧方式

（8）第14回ボランティアまつりの共同開催

ボランティアの輪の拡充と市民の福祉に関する意識の高揚を図るため、各種イベントや福祉体験コーナーを伊万里市ボランティア連絡協議会と共同で開催しました。

〇日　時　　平成３０年１０月２１日（日）１０時～１５時
〇会　場　　伊万里市民センター　ふれあいプラザ
〇内　容　　ボランティア活動紹介、日用品バザー、福祉体験コーナー、
　　手話コーラス、小物作品展・販売、お楽しみ抽選会、表彰等
〇来場者　　約１，５００人

６　障がい者（児）に関する事業

障がい者団体活動支援

① 在宅重度障がい者の集い「のぞみの会」の開催

在宅の重度障がい者の社会参加と交流を目的として開催しました。

回	行事名	期　日	場　所	参加者数
103	バスハイク（雨天のため中止）	９月９日	肥前さが幕末維新博	０人
104	バスハイク	１１月４日	〃	２２人

② 伊万里市視覚障害者の会活動支援

視覚障害者の会員相互の親睦と融和を図りました。

支援行事	期日	場所	参加者数
総会・花見	４月２２日	市民交流プラザ	１９人
バスハイク	６月２４日	肥前さが幕末維新博	１３人
白い杖で街を歩こう会	９月３０日	（悪天候のため中止）	０人
視覚障害者研修会	１月２０日	市民センター	２５人

７　高齢者に関する事業

（1）伊万里市老人福祉センターの運営（指定管理施設）

高齢者の健康増進や教養の向上、レクリエーションのための施設として、広く地域の方に親しまれるよう努めました。

開館日数	利用者数	平均利用数	開　館　日
２９１日	２０，６６９人 （市内 20,533 人、市外 136 人）	７１人/日	毎週月～土曜日

主な利用内容

風　　呂	１１，２２４名	囲　　碁	２，４９８名
娯　　楽	８，６５９名	カラオケ	８１０名
健康マージャン	４，０１１名	映　　画	７９５名

（2）生活発見創造講座開催事業（市委託事業）

高齢者の生きがいづくりとお互いの交流を深めるため、手芸・園芸・陶芸教室を開催しました。

区　分	手芸教室	園芸教室	陶芸教室	計
開催数	２１回	１２回	４９回	８２回
参加者数	２１５人	１０８人	４９６人	８１９人

（3）ふれあいいきいきサロンの活動支援

家に引きこもりがちな高齢者等に、気楽に集える場を提供し、地域住民との交流やレクリエーション、食事などの生きがいづくり活動を支援するため、助成金の交付や遊具の貸し出し、職員の派遣などを行いました。

実施サロン数	助成サロン数	助成金額	備考
５０か所	９か所	１か所 20,000 円	５か年間の助成

（4）福祉バス運行事業

高齢者を対象に、老人福祉センター及び老人憩の家の利用促進を図るため定期的に福祉バスを運行するとともに、福祉団体等の活動を支援するため福祉バスの貸出しを行いました。

区　　分	老人福祉センター及び老人憩の家の送迎	その他（福祉団体等）	計
稼働件数	６５件	４４件	１０９件

（5）老人クラブとの協働事業の開催

第18回ふれあい いきいきグラウンドゴルフ大会の開催

誰もが気楽に楽しめるグラウンドゴルフを通じて、高齢者の心身機能の維持向上と、生きがいづくりを図りました。

〇開催日　　平成３０年１０月１９日（金）
〇会　場　　国見台公園
〇参加者　　３００人
〇後　援　　市老人クラブ連合会
〇業務委託先　市グラウンドゴルフ協会

（6）敬老会開催助成事業

各地区の敬老会の開催を祝い、高齢者の明るい生活と生きがいづくりに寄与するため、開催助成を行いました。

敬老会開催数	対　象	助成単価	対象者数	助成額
１７か所	７７歳以上	350 円/人	7,566 人	2,648,100 円

（7）高齢者福祉施設との協働事業の開催

第１８回ほほえみ広げてふれあいステージ

福祉施設利用者の歌や踊り、手芸、書道、陶芸の作品など、日ごろの活動を発表する機会を設け、生きがいと広く一般の方の理解と関心を高める場として開催しました。

〇開 催 日　平成３０年６月２日（土）　１３時００分～１５時３０分
〇会　　場　伊万里市民センター　文化ホール・文化ギャラリー
〇参加団体　ステージ発表１２施設、作品展示１４施設

（8）一人暮らし高齢者調査

高齢者の実態を把握し、老人福祉事業の円滑かつ効果的な事業の推進のため、毎年１回の調査を行いました。

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
伊万里	238 人	黒　川	65 人	二　里	168 人
牧　島	43 人	波多津	73 人	東山代	180 人
大　坪	245 人	南波多	34 人	山　代	263 人
立　花	280 人	大　川	75 人		
大川内	76 人	松　浦	82 人	計	1,822 人

８　諸活動

(1) 共同募金会事業への協力

① 赤い羽根募金

「地域の福祉みんなで参加」をスローガンに、民間の社会福祉事業や福祉団体育成等の資金を確保するため、各家庭、職場、学校、事業所等から支援をいただきました。

募金種類	募金実績	募金依頼額
戸別募金	5,231,926 円	１世帯 350 円
資材募金	1,254,700 円	県産品、ボールペン、バッジ　1,755 件
法人募金	1,150,500 円	１事業所 5,000 円　260 件
学校募金	134,779 円	保育園、小・中学校　37 件
街頭募金	13,845 円	街頭募金活動
そ の 他	62,908 円	募金箱設置等　11 件
計	7,848,658 円	

② 歳末たすけあい募金

共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、福祉施設や福祉団体の年末年始の行事や被災世帯等への見舞金、高齢者と地域住民との交流会等に役立てていただくよう、多くの市民の方々にご協力をいただきました。

募金種類	募金実績	募金依頼額
戸 別 募 金	1,508,242 円	１世帯 100 円

歳末たすけあい募金配分状況

配　分　対　象	件 数	配 分 額	単　価
福祉作業所・福祉団体	14 件	616,000 円	44,000 円
災 害 被 災 世 帯	3 件	30,000 円	10,000 円
地区社協活動助成金	13 件	780,000 円	60,000 円
計	30 件	1,426,000 円	

（2）日本赤十字社事業への協力

① 日赤社員及び会費募集活動

赤十字社が実施する国際救援事業や災害救護活動、血液事業などの人道的活動が、円滑かつ強力に実施できるよう、５月を中心に各世帯へ社員加入と社費募集を行いました。

種　　類	会費納入実績	会費依頼額
日本赤十字会費	5,217,610 円	1 世帯 350 円

② 災害見舞金等贈呈事業

災害、家屋の全壊や全焼等があった場合に、被災者の生活再建を支援するため、災害見舞金品の贈呈を行いました。

贈呈金品　・・・見舞金、緊急セット、毛布、バスタオル

災害発生日	災害状況	地区
５月　８日	家屋の全焼	山代町立岩区
２月２８日	家屋の全焼	東山代町福住区

③ 災害義援金・救援金募集活動（送金額）

災　害　名	金　額
東日本大震災義援金	121,843 円
平成２８年熊本地震災害義援金	31,513 円
平成２９年７月５日からの大雨災害義援金	31,364 円
平成３０年７月豪雨災害義援金	613,949 円
平成３０年北海道胆振東部地震災害義援金	87,372 円
計	886,041 円

（3）区長会、民生委員･児童委員協議会への助成金の交付

① **区　長　会**　　（１３地区・町　助成金合計　428,800 円）

・地域福祉推進活動　　一律 15,000 円を交付

・共同募金運動推進活動　　納入実績額の 2.0％を交付

・日赤社費募集活動　　納入実績額の 2.5％を交付

② **民生委員･児童委員協議会**（１１地区　助成金合計　261,500 円）

・地域福祉推進活動　　一律 18,000 円を交付

・共同募金法人募金募集活動　　１事業所あたり 250 円を交付

（4）関係団体への支援

社会福祉団体へ助成金の交付

団　体　名	助成額	主 な 活 動
伊万里市ボランティア連絡協議会	400,000 円	ボランティアまつり、ふれあいステージ
伊万里市母子寡婦福祉連合会	80,000 円	ふれあい料理教室、健康づくり体操
伊万里市老人クラブ連合会	80,000 円	友愛ヘルプ活動 レディースグラウンドゴルフ大会等
伊万里市子ども会連合会	80,000 円	球技大会、子ども話し方大会
伊万里市保育会	40,000 円	保育講習会、保育の集い事業等
伊万里市身体障害者福祉協会	40,000 円	ふれあい障害者文化祭
伊万里市手をつなぐ育成会	30,000 円	ふれあいコンサート
伊万里市・西松浦郡 特別支援学級研究会	40,000 円	なかよし運動会
伊万里市精神保健福祉会 いまり草の根会	30,000 円	交流会、相談事業
伊万里地区認知症の人と その家族の会	50,000 円	認知症勉強会

（5）実習生の受入れ

将来の福祉人材確保・育成の一環として、大学や専門学校で、社会福祉士を目指している者の実習を受入れました。

・実習生５人　期間 24 日間